

県議会 とちぎ

2012年4月29日

No. 103

編集・発行 栃木県議会
〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-3772
FAX 028-623-3755
E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp
HPアドレス http://www.pref.tochigi.lg.jp/p01/kengikai

全国に先駆けて通年議会が開会

栃木県議会では、全国に先駆けて、会期を概ね1年間とする通年議会を導入いたしました。これにより、県政への監視機能や政策立案機能の充実強化、災害等の突発的な事態に対して、さらに、適時・適切な対応ができるようになります。

4月16日には招集会議が開会され、今後、各常任委員会においては、政策立案機能強化のため、特定テーマの調査研究が始まります。

また、第310回栃木県議会定例会(2月21日から3月23日)では、本会議における質疑・質問や予算特別委員会総括質疑などが行われ、知事や議員から提出された81議案が原案どおり可決されました。さらに、閉会日には正副議長選挙が行われ、議長に高橋文吉議員、副議長に五月女裕久彦議員が選出されました。

可決された主な議案

- 平成24年度栃木県一般会計予算
- 平成24年度栃木県特別会計予算
- 栃木県議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部改正について
- 栃木県議会定例会の回数等を定める条例及び栃木県議会委員会条例の一部改正について
- 栃木県議会会議規則の一部改正について

採択及び趣旨採択された請願・陳情

- 地方消費者行政充実のための国による支援に関する陳情
- 混合型血管奇形の難病指定を求める意見書に関する陳情

可決された意見書・決議

- 災害廃棄物の処理促進を求める意見書
- 地方消費者行政の充実を求める意見書
- 難病対策の充実を求める意見書
- 父子家庭に対する支援制度の拡充を求める意見書
- しいたけ原木の放射性物質汚染対策の強化を求める意見書
- 北朝鮮による日本国民の拉致問題の早期解決を求める意見書



招集会議の様子

第310回定例会 代表・一般質問者及び質問項目

<p>一 知事の政治姿勢 平成24年度当初予算編成 東日本大震災の復旧・復興 総合スポーツゾーン構想 LRTの導入 新たな財政再建プログラムの早期策定 フードパレールとちぎの推進 フードパレールとちぎ特区 推進組織 推進者へのフードパレールとちぎ 推進の働きかけ 高等特別支援学校の設置 一条中学校との隣接設置 一条中学校と隣接設置した 場合の教育的メリット 今後の高等特別支援学校の設置</p>	<p>一 知事 弘司 (民主・無所属) ※</p>	<p>一 地方府県立のための地域主権改革 今後の財政運営計画 復興推進対策 栃木県版復興推進 県民目録での放射性物質に 係る緊急対策 産業復興に向けた戦略的な 企業誘致の推進 大規模災害時の危機管理体制の確立 再生可能エネルギーの戦略的な 利活用推進 行財政改革</p>	<p>一 平成24年度当初予算と今後の 財政運営 県と宇都宮市との連携 放射線物質汚染対策 除染の対応 新たな基準値への対応 馬頭最終処分場の整備 将来を見据えたとちぎの森づくり 在宅医療及び介護の充実 畜産の振興 宇都宮市食肉地方卸売市場の整備 県内における飼料自給率の向上 高等特別支援学校の開設準備 とちぎの学ぶ楽しさの推進</p>	<p>一 三森 文徳 (とちぎ自民党) ※</p>
<p>一 県内経済の活性化 企業誘致及び産業成長戦略 雇用対策 農業の成長戦略 6次産業化の推進 新規就農者の確保育成対策 食の安全・安心の確保対策 既存ダムを活用した水力発電 への取組 地域の教育力の向上対策 国道461号バイパス等の整備</p>	<p>一 池田 忠 (元 気)</p>	<p>一 力強い成長産業の創出 戦略的企業誘致の推進 森林資源の有効活用 森林整備による公益的機能の発揮 県産木材の利用促進 業行政 休日夜間における調剤薬局の稼働 薬剤師による訪問指導の充実 ジェネリック医薬品の普及促進 地上デジタル放送難視聴対策 県道佐野田沼線及び作原田沼線 の道路冠水対策 良好な自転車交通秩序の実現</p>	<p>一 知事の震災復興に対する政治姿勢 震災復興への捉え方 広域的がれき処理 地域防災計画の見直し とちぎづくりに向けた取組 健康長寿立県とちぎづくり 観光立県とちぎづくり 教育先進県とちぎづくり 環境立県とちぎづくり 重度心身障がい者の医療費 脳脊髄液減少症</p>	<p>一 山口 恒夫 (公明党) ※</p>
<p>一 北関東自動車道を活かしたとちぎの振興 新サービスエリア等の設置 企業誘致 ふるさと納税 消防防災ヘリコプターの有効活用 生活保護受給者の自立支援 奨学金制度の拡充 特色選抜 中学校における武道必修化</p>	<p>一 角田まさのぶ (みんな)</p>	<p>一 「とちまるくん」の活用 生物多様性保全の取組 障害者福祉への取組 新型インフルエンザ対策 いちご新品種の戦略的な推進 「進化」する農業・栃木の実現 公共土木施設の減災対策 みぶ羽生田産地産地販売戦略</p>	<p>一 東日本大震災からの復興と新たな 「とちぎ」づくり 県産農林水産物の放射性物質 対策と獣害対策 食品中の放射性物質に係る 新基準値への対応 特用林産物の放射性物質汚染対策 捕獲担い手の確保等による 獣害対策の推進 観光振興・復興の取組 風評被害への対応策 外国人観光客の誘客促進 原子力防災体制の充実強化 地域防災計画の見直し等 庁内の組織体制の充実強化</p>	<p>一 渡辺 渡 (とちぎ自民党)</p>
<p>注()は所属党派 (とちぎ自民党) とちぎ自民党議員会 (みんな) みんなのクラブ (民主・無所属) 民主・無所属クラブ (公明党) 公明党栃木県議会議員会 (元 気) 元気クラブ ※は代表質問 裏面の「本会議質疑・質問から」に掲載している 質問項目は、太字で表示してあります。</p>	<p>一 知事の県政への取組 中国との積極的な友好交流 危機管理・国土保全 栃木茨城縦貫道路の整備 渡良瀬遊水地のラムサール 条約登録 災害時における医療体制 県税収入の確保 職員の公務能率の確保 県道栃木二宮線の整備 資質の高い教員の確保</p>	<p>一 知事の県政への取組 中国との積極的な友好交流 危機管理・国土保全 栃木茨城縦貫道路の整備 渡良瀬遊水地のラムサール 条約登録 災害時における医療体制 県税収入の確保 職員の公務能率の確保 県道栃木二宮線の整備 資質の高い教員の確保</p>	<p>一 被災復旧の進捗と防災・減災 対策の見直し 地域防災計画の見直しと原子 力災害対応マニュアル 放射線物質による汚染対策 観光政策 発達障がい児者に対する支援 の強化</p>	<p>一 斉藤 孝明 (民主・無所属)</p>

第310回定例会 本会議質疑・質問から

主旨と、執の要な次
問の事旨は
質の要旨は
疑の要旨は
質の要旨は
主なる部
ここの部
行の部

栃木県版復興推進

問 震災から一年の今、総合的、一体的な復興対策を講じ、強力に推進していくための協議の場を設け、計画的に進めていく必要がある。復興の緊急的措置や被災対応、今後の計画や各種事業の優先順位などに関する説明は十分とは言えず、震災の影響により新とちぎ元気がプランの枠組みでは対応しきれない部分も出てきていると感じるが、新たに本県版復興計画を策定する考えはないか、改めて知事に聞きたい。

東日本大震災からの復興と新たな「とちぎづくり」

問 これからの一年間の取組でいかに初速を稼ぎ出せるかが震災復興と新たな「とちぎづくり」を進める上で重要だ。また、災害対策特別委員会の提言を踏まえ、山積する諸課題を克服するためには、オール栃木体制で臨む必要があるが、そのために知事には強いリーダーシップが求められる。知事の決意を聞きたい。

奨学金制度の拡充

問 ある教育情報会社の調査では、生徒が大学進学を断念した理由の七割以上(複数回答)が「学費や入学後の費用のため」だった。長引く景気低迷や原発の放射能漏れによる風評被害により、経済的に困窮する家庭が増えているなか、栃木県教育会の奨学金について、額の増額や募集枠の拡大及び日本学生支援機構奨学金との併用を認めるなど、制度の拡充を図るべきと考えられているが、県の考えを聞きたい。

広域的がれき処理

問 東日本大震災において、本県が被災県であることは事実だが、その県内のがれき処理に一定の目途が立った上で、岩手・宮城を中心とした東北の被災県に存在する大量のがれきに、一定の条件付きで受入れを表明すべきではないかと、知事の見解を聞きたい。

新たな基準値への対応

問 本年四月から食品等に定められる放射性セシウムの新たな基準値が設定されることに伴い、きのこをはじめ米やアユについても影響が懸念されるが、農林産物や食品の安全性、信頼性を確保するため、県はどのように対応しようとしているのか、知事に聞きたい。

既存ダムを活用した水力発電への取組

問 再生可能エネルギーへの取組拡大と水資源の有効活用を図るため、水力発電を活用されていない既存ダムを活用して水力発電に取り組みすべきであり、また、既存の水力発電施設においては、発電量の増強対策に取り組みすべきと考えられているが、県の考えを聞きたい。

総合スポーツゾーン構想

問 総合スポーツゾーンには一億円の予算が投入されたが、予定地の交通処理問題をはじめ、多くの課題等が明らかになったので、候補地の選定などを詰め、改めて立ち返って検討すべきである。

「とちまるくん」の活用

問 県は、昨年、全国スポーツ・レクリエーション祭終了後に「とちまるくん」を県のマスコットに昇格させた。本県のイメージアップを図るためにも、「とちまるくん」を活用し、とちぎの強み、良さ、魅力を県内外に積極的に発信すべきと思うが、県の考えを聞きたい。

地上デジタル放送難視対策

問 地上デジタル放送に移行して七か月余りが経過した今も中山間地域を中心に難視地域がある。中山間地域では、公共交通、道路、下水道等の生活環境の整備が遅れがちであり、生活面での様々な課題を抱えている状況が続いている。一刻も早く対策に取り組みが必要であると考えられているが、地上デジタル放送難視対策の現状と今後の県の具体的な対応について聞きたい。

観光政策

問 観光産業を生業としているのはホテル・旅館だけではない。例えば、県内には中小旅館業者が百八十社もある。プレミアム付き宿泊券「元気度日本」とちぎ版「飯抄」の発行事業は、旅館やホテルだけに直接恩恵があると思われるが、地元の旅業者も恩恵を受けたい。本事業の対象となる裾野を広く組み直す検討や継続的な支援策を講じていただきたいたいと考えられているが、知事の考えを聞きたい。

栃木茨城縦貫道路の整備

問 首都直下型地震の際に、重要な交通ルートとしての役割は、東京から本地域へのアクセスの確保であり、圏央道から新四号国道というルートを確認すべきである。新四号国道は諸国道であるが、県としても再整備するよう、強力に国に要請すべきと思うが、知事の考えを聞きたい。

議員のついで

◆新議長・副議長の選出
第三〇〇回定例会閉会日、神谷幸伸議長と岩崎信隆議長の辞任に伴う正副議長選挙が行われ、第九十九代議長に高橋文吉議員(とちぎ自民党、六期、宇都宮市上三川町選挙区)、副議長に五月女裕久議員(とちぎ自民党、三期、宇都宮市上三川町選挙区)が選出されました。

会派構成の変更

平成二十四年四月十日現在の会派構成は次のとおりです。
とちぎ自民党議員会 二十六人
みんなのクラブ 十一人
民主党・無所属クラブ 六人
公明党栃木県議会議員会 三人
元気クラブ 二人

議長 高橋 文吉
副議長 五月女 裕久

今後の日程など

4月から12月までを会期とする通年議会が始まりました。今後の日程についてはホームページでご確認いただくか又は県議会事務局議事課(TEL028-623-3761)までお問い合わせください。
県議会ホームページアドレス
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/p01/kengikai>

県議会広報テレビ番組のお知らせ

「県議会へようこそ」(とちぎテレビ)を通じて、県議会の動きなどを皆さまにお届けしています。番組内容は次のとおりです。ぜひご覧ください。
◎「県議会ハイライト」
本会議の質疑・質問や予算特別委員会総括質疑の模様、各委員会等の活動状況などを随時放送する予定です。
第1回 本放送 5月1日(火) 午後8時~8時30分
再放送 5月13日(日) 午後0時~0時30分
○「正副議長に聞く」
新たに就任した正副議長へのインタビューなどを放送します。
本放送 5月27日(日) 午後0時~0時30分
再放送 5月29日(火) 午後8時~8時30分